

(様式1)

平成30年度 学校評価結果報告書(高等学校用)

(1) 学校教育目標	①自主・自律の精神に富み、責任を重んじ、協調性があり、心豊かでたくましく、生きる力を身につけた人間を育成する。 ②進んで真理を探究し、創造的な思考力に溢れ、理性的で公正な判断力を持ち、個性豊かで国際社会に貢献できる主体的な人間を育成する。 ③たゆまぬ向学心と強靱な体力及び精神力を持ち、進んで文武両道に励む心身ともに健全な人間を育成する。 ④自他の生命を尊重するとともに、積極的な奉仕活動の実践を通して、他者を思いやる心など、社会性のある人間を育成する。
------------	--

(2) 現状と課題	「文武両道」を学校経営の基本に掲げ、地域に信頼される学校作りのために、学習指導、生徒指導、進路指導及び部活動指導等において、保護者の理解を得ながら取り組み、着実に成果を上げてきている。生徒は概ね素直でよく努力はしているが、教員主導に負う部分が大いなのが現状である。生徒の学習面、行動面ともに全教職員が共通理解を持って取り組み、あらゆることにチャレンジ精神を持って主体的に取り組む生徒を育成していかなければならない。
-----------	---

(3) 重点目標	1 学習指導の充実
	2 生徒指導の充実
	3 進路指導の充実

(4) 結果の公表	学校ホームページで公表する。
-----------	----------------

学校整理番号	5
学校名	青森県立青森北高等学校
全日制の課程	本校 校舎・分校

自己評価実施日	平成 30 年 12 月 21 日(金)
学校関係者評価実施日	平成 31 年 2 月 12 日(火)

(9) -イ 学校関係者評価委員会の構成
学校評議員(学校関係者評価委員を兼ねる) 4名 学校関係者評価委員 4名 計 4名

自 己 評 価				学 校 関 係 者 評 価		
番号	(5) 評価項目	(6) 具体的方策	(7) 具体的方策による目標の達成状況	(8) 目標の達成度	(9) -ア 学校関係者からの意見・要望・評価等	(10) 次年度への課題と改善策
1	学習指導の充実	①基本的な学習姿勢の確立と継続 ②文武両道を実現する学習指導体制の構築 ③家庭学習の充実	①「予鈴で着席し、チャイムと同時に授業開始」「始業・終業時のけじめのある挨拶」を徹底した。昼休みの後等に一部乱れが見られたが、おおむね良好な状態であり、授業規律が保たれていた。 ②教材研究、授業公開や互見授業、研修参加、生徒による授業評価等により、授業力向上を図った。今後も「分かる授業」「理解を深める授業」を展開できるように、授業改善に努めていく。 ③各学年による朝テストや週末課題の実施及び学習の記録の活用によって、個に応じた指導を展開し、家庭学習の習慣化を図ったが、全体的にはもう少し努力が必要である。	B	・様々な課題等を抱えながらも全体的に良く頑張っていると感じている。 ・図書館の利用促進について、良く工夫していると思う。利用状況をデータ化しながら取組を継続して欲しい。 ・③文武両道の取組、スポーツ科学科の実技発表会や地域との交流、ボランティア活動などの特徴的な活動をもっと広く発信して、青森北高校の魅力を積極的にアピールするべきである。	生徒の約8割が上級学校進学を考えている実情を踏まえ、確かな学力の向上に向けた「分かる授業」、「理解を深める授業」の実践が欠かせない。教師側も常に研鑽を積んで、生徒が主体的に学習に取り組むように興味関心を持たせる指導を探っていく。また、生徒の活躍の様子の積極的な発信や、中学生の体験入学の内容を工夫するなど、学校の魅力発信に力を入れていく。

2	生徒指導の充実	<p>①基本的な生活習慣の定着 ②いじめ問題や不登校への適切な対応 ③校内外の安全指導の徹底</p>	<p>①服装頭髪面では、概ね良好であったが、特に男子の頭髪と女子のスカート丈については日常の指導が必要である。遅刻の数がやや多いので、ホームルームや生徒会組織等での取組の工夫が必要である。 ②いじめ認知が7件、そのうち4件は県教委に解消報告をした。「学校いじめ防止基本方針」の見直しを行い、円滑な組織対応ができるように整備した。今後もいじめの未然防止、早期発見に努め、全職員の共通理解を図りながら組織での対応に取り組んでいく。 ③自転車の事故が多かった。また、自転車のマナー向上とルールの遵守については、指導の強化が必要である。登下校指導を粘り強く行っていく。</p>	B	<p>・成人年齢の引き下げに向けて、3年間の教育内容の見直しが必要である。入学当初から、学校と保護者が密に連携をとりながら進めていくべきである。 ・地域交流では、海水浴場や通学路の清掃ボランティア、かかしロードへの参加協力、油川ジャズフェスティバルへの演奏参加、餅つき大会での手伝いなど、大きな地域貢献をしており非常に高く評価している。今後も地域の活性化に貢献して欲しい。</p> <p>自転車の交通マナーに関する苦情が多いことを受け、交通安全教室の内容改善や登下校指導の強化をして改善を図る。いじめ防止対策では、引き続き「学校いじめ防止基本方針」に基づいて、全教職員で共通意識を持って組織的に対応していく。今後も、保護者との信頼関係をしっかりと構築しながら一人一人の生徒の指導にあたっていく。</p>
3	進路指導の充実	<p>①キャリア教育の推進 ②進路志望達成のための学力向上 ③勤労観の育成と早期の就職志望先の決定</p>	<p>①3年間の体系的なキャリア教育の流れが定まった。特に、就業体験企業の開拓や、地域や産業界の協力を得ながら進路関連企画を充実させた。今後は、内容の精査を怠らず、文書として可視化し、本校のキャリア教育を対外的にも説明できるようにする。 ②土曜講習、放課後講習、長期休業中の特別講習、学習合宿等、あらゆる機会を捉えて学力向上を図った。大学体験講座の充実や生徒が主体的に進路探究できる環境を整え、生徒の学習意欲を高めた。 ③就職志望生徒に対する講演会およびガイダンスを行った。民間就職支援講座や公務員対策学内講座等の内容を充実させた。のべ57人が公務員試験に合格した。</p>	A	<p>・進路指導についてはきめ細かな指導がなされている。今後はさらなる進学率向上をめざし、様々な情報収集を強化し、引き続き適切な進路指導をお願いしたい。 ・就職指導もしっかりなされていると思う。特に、公務員の合格者が大幅に増加したことは素晴らしい。今後も丁寧に指導をして欲しい。</p> <p>進路指導については、今後の教育改革の動きを見据え、記述への対応や、早期のAO・推薦指導のシステムの構築等しっかりと取り組んでいく。就職・公務員指導についても指導体制を一層強化し、生徒の自己実現を図る信頼される学校づくりを進めたい。</p>

(11) 総括	<p>今年度の結果を踏まえ、本校が「文武両道」を基本とし、地域に信頼される学校づくりのために取り組むべき課題は、①「分かる授業」「理解を深める授業」の実践。②学校の魅力の積極的な発信。③「安全指導」や「いじめ防止対策指導」の強化。④3年間を見通した進路指導体制の定着。以上の4点である。今後も、全教職員の共通理解と、保護者との信頼関係を大切にして取り組んでいく。</p>
---------	---